

## 平成 24 年度第 1 回沼津市幼保小連携協議会報告

○日 時：平成 24 年 7 月 11 日（水）14：30～

○場 所：市役所 7 階 702 会議室

○出席者：梶 祐造 （大岡南小学校長）  
内村 雅江 （愛鷹小学校教諭）  
刈屋 典子 （沢田小学校教諭）  
今井 晶子 （児童発達支援センターみゆき主任保育士）  
平川 友子 （小百合保育園主任保育士）  
園田佳津枝 （象山幼稚園主任教諭）  
相原 恵 （大平幼稚園主任教諭）

事務局：教育企画室 岩崎室長、大川副参事、玉井指導主事、内村主任

### ○協議内容

- ①「沼津っ子幸せの愛言葉」の活用状況について
  - ・各園、学校とも、まずは周知の段階。
  - ・子どもたちのキャラクターへの反応はよい。
  - ・ペーパーサートや絵を描いて、愛言葉の指導をした。
  - ・キャラクターをラミネートして掲示した。
  - ・さらに、キャラクターを通して愛言葉を定着させたい。
- ②「沼津っ子幸せの愛言葉」の今後の周知・活用について
  - ・キャラクターの着ぐるみ、お面、ぬり絵、カード、シールなどで、まずはキャラクターを利用して広める。
  - ・キャラクターと愛言葉を組み合わせることで指導に生かす。
  - ・愛言葉が実践できたら、キャラクターにほめられたことにしたり、ご褒美シールをあげたりして、愛言葉の指導を進める。
  - ・保護者への周知には、カードに一言欄を作るとよい。
  - ・すぐに定着させる事は難しいので、長期の計画を立てて周知や活用をしていく。
- ③幼保小の交流と今後の方向性について
  - ・幼稚園や保育園の子どもたちは、いろいろな学校に入学するが、交流は近くの学校とでよいのではないか。
  - ・子ども、教員の交流を進めるため、ブロック制を検討したい。
  - ・保育園はシフトの関係もあり、いきなり交流はできない。事前に予定の調整が必要。
  - ・子どもの交流には、各施設の都合がよい時間帯と移動方法を検討に入れる。
  - ・教員の交流も進めたい。1年生の授業研修などに参加できるとよい。